

平成27年度KPI達成状況（先行型交付金）

資料1

No.	交付対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標（KPI）			実績 H27	外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
		指標	指標値	単位		事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	定住移住応援事業	1	移住について具体的な相談が入っている人数	5	人	4	総合戦略のKPI達成に有効であった	・移住相談がどの程度移住に繋がったのかの指標が必要。 ・今年度から網田地区にきている地域おこし協力隊の意見を聞き、反映させてはどうか。 ・2組のカップル成立は成果ありだと思ふ。 ・ニーズに応じた事業のパッケージ化が必要。併せて、移住後のフォロー・サポート体制が必要。	事業内容の見直し（改善）	KPIは達成していないが、一定の効果はあった。両事業ともに内容など幅広く周知することが重要と認識している。今後は、外部有識者からの指摘も踏まえ、移住後のフォロー体制も検討する。その他、地域おこし協力隊の活用や民間でのイベント実施についても検討する。
		2	婚活イベントによるカップル成立件数	5	件	2				
		3								
		4								
		5								
2	地域しごと（農業・水産業）育成・支援事業	1	農園レストランの来場者数	40	人/日	30	総合戦略のKPI達成に有効であった	・農園レストランのPRがもっと必要だと思ふ。 ・農園レストラン来場者にアンケート調査を行い、来場のきっかけやニーズの把握をしてはどうか。 ・水産加工品売上額の著しい増加は成果だが、ブランド化によるものかの分析が必要。	事業の継続	一定の成果が現れているため、継続して実施する。指標の達成率と事業の因果関係が明確にできていない部分があるため、分析についても精度を高め、より効果的なPDCAサイクルを運用していきたい。
		2	アサリ貝の発生数	100	個/m ²	162				
		3	水産加工製品の売上額増加	5	%	40				
		4								
		5								
3	地域しごと（商業）育成・支援事業	1	小売業年間商品販売額増加	5	%	2.3	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	・コミュニティバスの目標について、乗客数が目標の半分にしか達成していない要因分析が必要。 ・目標値自体が適切だったかどうかの検証も必要。	事業内容の見直し（改善）	KPIは達成していないが、一定の効果はあった。指標の達成度が低く、要因分析により効果的な事業内容にしていくなが必要がある。指標・目標値についても、適切なものになるようにしたい。
		2	コミュニティバスの1日あたりの乗車人数	140	人/日	71				
		3								
		4								
		5								
4	子ども・子育て支援事業	1	待機児童数	0	人	15	総合戦略のKPI達成に有効であった	・教育相談を何人に実施し、それが子育て世代の何%に当たるか等の数値についても把握していく必要がある。 ・事業名が「子ども・子育て支援事業」だが、内容的には教育関係の指標になっている。	事業の継続	一定の効果が現れているため、継続して実施する。一般の人が見て、事業名と事業内容がリンクしていない可能性があるため、内容を捉えた事業名にし、効果的なPRを行っていきたい。分析に用いる各種データ収集も怠らないようにしたい。
		2	子育て支援に「満足している」という回答の増加率	10	%	76				
		3	事業の内容がわかる子供の割合（小5児童）	78	%	93				
		4	事業の内容がわかる子供の割合（中2生徒）	48	%	77				
		5								
5	産前・産後応援事業	1	児童罹患率の減少	5	%	4	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業名は「産前産後応援事業であるが、内容的には「子ども子育て応援」に感じる。 ・出生率が増加しているのは成果であるが、その要因の分析も必要だと思ふ。	事業の継続	一定の効果が現れているため、継続して実施する。一般の人が見て、事業名と事業内容がリンクしていない可能性があるため、内容を捉えた事業名にし、効果的なPRを行っていきたい。
		2	出生率の増加	5	%	7				
		3	病児・病後児保育施設利用者登録者数	370	人	412				
		4	乳幼児健診・心理相談件数	130	件	102				
		5								

No.	交付対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
		指標	指標値	単位	H27	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
6	機能性野菜を活用したプラットフォーム創出事業	1	フェアにおける意見聴取数	1,000	人/日	200	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	<ul style="list-style-type: none"> 開催日等の検討が必要。 イベントやフェアを継続的に開催していくことが効果的だと思う。 全体的にPR不足の感が否めない。 アウトプット指標だけでなく、認知度そのものの指標も必要。 	事業内容の見直し(改善)	フェアの周知期間が短く、また当日の気候が悪かったのが目標数値に達しなかった大きな要因である。今回の取り組みはプラットフォーム創出のための第一歩であったが、実現に向けての課題も見えてきたため、課題を解決しつつ、着実に計画を進めていきたい。
		2	イベントにおける意見聴取数	500	人/日	120				
		3	成分分析の結果や新商品の内容を含めて宇土市の機能性野菜をPRした人数	24,000	人	9,530				
		4								
		5								
7	西部地区観光資源活性化事業	1	宇土マリーナ物産館売上額(前年度比増加率)	3	%	3.4	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 特産品を使った目玉商品の開発を望む。 特徴あるイベントの開催も必要かと思う。 三角西港だけでなく、宇土半島全体について、宇城市やひいては天草市・上天草市と連携した取り組みの検討が必要。 	予定通り事業終了	一定の効果を得ることができた。今回の事業については、ニーズ把握等の意味合いが強く、モニターツアー実施という事業内容については、予定通り今回で終了とする。今後は、今回得られたデータ等を基に、近隣の市町村と協力しながら観光分野の振興を目指していきたい。
		2								
		3								
		4								
		5								
8	放課後児童クラブ新規設置事業	1	放課後児童クラブの入会待機者数	0	人	0	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ももとの待機者数が示されていないので、効果が見えにくい。前後の数値を示すことで効果が誰にもわかりやすくなると思う。 今後も待機者0を続けてほしい。 	事業の継続	目標を達成することができ、今後も待機者数0が続くように、事業を実施していきたい。
		2								
		3								
		4								
		5								
9	保護者のための療育支援事業	1	本事業により育児負担軽減に繋がったと答える保護者の割合	80	%	81	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 育児負担軽減率向上に努めるとともに、負担軽減に繋がっていない20%の保護者に着目し、分析を行うことで、100%に近づけてほしい。 	事業の継続	一定の効果が現れているため、継続して実施する。また、今後は負担軽減に繋がっていないと感じている保護者も効果が感じられるような取り組みも行っていきたい。
		2								
		3								
		4								
		5								